

第4章 第2次世界大戦（「大祖国戦争」）期のソ連外交

UENO Toshihiko, e-mail: uenot@mc.newweb.ne.jp; URL: <http://www.geocities.jp/collegelife9354/index.html>

1. リトヴィノフ外交

英仏との協調関係の確立

- 1933年1月 ナチス・ドイツ政権成立
ソ連の「二重外交」
ドイツと対抗するために英仏に接近
ドイツとの親密な関係をできる限り維持し続けようとする
英・仏・ポーランドの選択
ソ連と手を組んでドイツと対抗するか
ドイツを宥してその矛先をソ連に向けさせるか
- 3月 ジュネーブ軍縮会議で、リトヴィノフ外相、仏の安全保障要求を支持
- 7月 英ソ間の禁輸措置解除
- 8月 独ソ軍事秘密協力の打ち切り
- 11月 仏、ソ連の国際連盟加入、仏ソ相互援助条約締結を提案
米国、ソ連を承認し、国交樹立
- 1934年1-2月 ソ連邦共産党第17回大会
スターリン、ナチス政権と直ちに関係を悪化させることはないという態度を表明
ベルサイユ体制への否定的評価、国際連盟加入への慎重姿勢を維持
しかし、その後、ソ連は、ドイツの反ソ的政策により、親独政策を放棄し、英仏との同盟の追求へ向かう
- 2月 英ソ新通商協定調印
- 9月 ソ連、国際連盟に加入
- 1935年5月2日 仏ソ相互援助条約調印
「スターリン=ラヴァル共同声明」
スターリン、フランス政府の国防政策を支持

2. 世界戦争の危機

- 1935年10月 イタリア、エチオピア侵攻開始
- 1936年3月 ドイツ軍、ラインラント進駐
- 11月 日独防共協定締結
↓
これらを抑止できなかったことで、国際連盟の無力さが示される
英仏同盟も当てにならない
ソ連国内における大粛清→ソ連の内政不安定化と軍弱体化をもたらす
→西欧におけるソ連への幻滅
- 1936年7月 スペイン人民戦線政府に対するフランコ派の反乱 = スペイン内戦
ソ連、人民戦線政府への武器援助、政府顧問団派遣、国際旅団の義勇兵組織化により影響力を強める
その後、人民戦線内部の対立抗争によりスペイン人民戦線弱体化
- 1938年3月 ナチス・ドイツ、オーストリアを併合
- 9月 ミュンヘン会談=対独宥和政策の頂点
英仏、ドイツに妥協し、ドイツによるズデーデン（チェコ北部）併合を承認
↓
ソ連、独ソ不可侵条約締結へと向かう

3. 極東の緊張激化

- 1933年5月 ソ連、東清鉄道の満州国への売却を提案=対日宥和政策（1935.3 妥結）
- 1934年10月 中国共産党、「長征」の開始
- 1936年12月 西安事件
張学良により監禁された蒋介石の釈放を中国共産党の周恩来が工作

↓

抗日統一戦線の創出（第2次国共合作）

ソ連は、日本軍が中国に釘付けにされている限りソ連・モンゴル方面への北上はない
と考えたため、中国における国共合作=抗日統一戦線の成立を強く望んでいた

- 1937年7月 日中戦争開始
- 8月 中ソ不可侵条約→ソ連、国民党政府の抗日戦争を支援
ソ連は、一貫して、日本の中国侵略を非難し国民党政府を支援したが、日本との直接対立は回避しようとした

↓

しかし、長いソ満国境での軍事衝突は不可避

- 1938年7月29日 張鼓峰事件（ハサン湖事件）

4. リトヴィノフ外交の終焉

日ソ戦さなかの独ソ不可侵条約締結

- 1939年3月 ドイツ、ミュンヘン協定に違反してチェコスロヴァキアを完全に征服

↓

ソ連、英仏がドイツをさらに東方にけしかけることを恐れ、ヒトラーとの和解をはかる

- 5月3日 親英仏派のリトヴィノフ外務人民委員解任、モロトフ首相が兼任
- 4日 ノモンハン=ハルハ（ハルヒン・ゴル）川付近で、モンゴル人民共和国軍と満州国軍が衝突
- 11日 ノモンハンの軍事衝突、日ソ両軍の戦闘へと拡大（29日までに日本側の戦死者約150名）
- 31日 モロトフ、1936年のソ連・モンゴル友好条約に基づき、モンゴル国境防衛を約束
- 6月1日 白ロシア軍管区副司令官ジューコフを極東の紛争地区に派遣することを決定
- 中旬 ソ連空軍機による空襲開始、日本軍側も対抗して、航空戦続く
- 27日 モンゴルのタムスクを日本軍が空襲
- 7月25日 この日までに日本軍側戦死者約4,400名
- 8月20日 ソ連軍総攻撃、日本軍（第23師団）壊滅（累積死者数約8,600名）
- 23日 独ソ不可侵条約締結
- 9月15日 日ソ休戦協定

5. 第二次世界大戦の始まり

- 1939年8月23日 独ソ不可侵条約締結
- 9月1日 ドイツ軍、ポーランド侵攻=電撃作戦（第二次世界大戦の始まり）
- 9月3日 英、仏、対独宣戦布告

6. ソ連の領土拡大

6.1. 独ソによるポーランド分割と、ソ連によるバルト三国の支配

- 1939年9月28日 独ソ不可侵条約秘密議定書の一部修正
→ポーランドを独ソ間で分割し、エストニア、ラトヴィア、リトアニア、フィンランド、ベッサラビア（現モルドワ）をソ連の勢力圏とすることを決める

- リガ条約によって喪失した西白ロシアと西ウクライナを回復（併合はそれぞれ 11.1 と 11.2）
- ソ連・エストニア相互援助条約締結（ソ連への併合は 1940.8.6）
- エストニア領内にソ連の海軍と空軍の基地を設置することを規定
- 1939年10月5日 ソ連・ラトヴィア相互援助条約締結（ソ連への併合は 1940.8.5）
- ソ連・リトアニア相互援助条約締結（ソ連への併合は 1940.8.3）
- ポーランドにヴィルノ（現ヴィリニユス）市とその周辺地域をリトアニアに返還させた上で条約を締結

6.2. ソ連・フィンランド戦争

- 1939年10月 ソ連、バルト三国と締結したものと同様の相互援助条約の締結をフィンランドに提案
 - フィンランドは拒否
 - ソ連、レニングラード防衛上重要なハンコ岬の30年租借をフィンランドに要求
 - フィンランドは拒否
 - ソ連、売却を要求→これも拒否
- 11月末 ソ連、フィンランドとの外交関係を断絶し、攻撃開始（冬戦争）
 - フィンランド共産党指導者クーシネン主犯の「フィンランド民主共和国」樹立
- 12月2日 ソ連・「フィンランド民主共和国」相互援助条約締結
- 12月14日 国際連盟、ソ連を追放
- 1940年3月12日 英国の介入を恐れたソ連、フィンランドと講和条約締結
 - ヴィープリ（現ヴィボルグ）市を含むカレロ地峡地域を獲得
- 3月31日 フィンランドとの講和条約により獲得した新領土とカレリア自治共和国とを併合して、ソ連邦を構成するカレロ・フィンソヴィエト社会主義共和国を編成（ヴィボルグ市はレニングラード州に編入）

6.3. ベッサラビアと北ブコヴィナの併合

- 1940年6月末 ソ連、ルーマニアからベッサラビアと北ブコヴィナを奪取
 - 1812年からブレスト・リトフスク講和条約までロシア領だった地域の回復

7. 独ソ戦の開始

7.1. バルカンをめぐる独ソ間の対立

- 1940年夏 ドイツ、ルーマニアを勢力圏に置く
- 11月 ルーマニア、日独伊三国同盟に加盟
 - モロトフ外相、ベルリン訪問
 - ソ連側は、ドイツ軍のフィンランドからの撤退、ソ連・ブルガリア相互援助条約締結、ボスポラス・ダーダネルス両海峡への拠点の設置を要求→ドイツは拒否
- 1941年1月 ドイツ軍、ルーマニア進駐
- 3月 ドイツ軍、ブルガリア進駐
 - ブルガリア、ユーゴスラヴィアとともに三国同盟に加盟
- 4月 ユーゴスラヴィアで反独クーデター
- 4月6日 ソ連・ユーゴスラヴィア友好不可侵条約締結
 - ドイツ軍、ユーゴスラヴィア侵攻開始（ユーゴスラヴィアは1週間で降伏）
- 4月13日 ユーゴスラヴィア、ドイツに降伏
 - 日ソ中立条約締結
 - 日本政府は、独ソ間の対立激化によるドイツの対ソ戦開始が迫っていることを気づかず

7.2. 独ソ戦の開始

- 1941年6月22日 ドイツ軍、ソ連へ向けて侵攻を開始（バルバロッサ計画）

- 総兵員数 550 万
ソ連軍航空機の損害、初日だけで 1800 機以上（全軍用機の 2 割以上）
1 週間以内にミンスク陥落
- 7 月 日本軍、ソ満国境付近で、大演習（関東軍特別大演習=関特演）
- 7 月 1 日 リガ陥落
ソ連は、最初の 3 週間で、ラトヴィア、リトアニア、白ロシア、モルドワの全域、ウクライナの大部分、エストニアの一部をドイツ軍に占領される
- 7 月 16 日 スモレンスク陥落
- 8 月中旬 ノヴゴロド陥落
- 9 月 8 日 レニングラード包囲戦開始（1944 年までに 60~100 万人の市民が犠牲となる）
- 9 月 17 日 キエフ陥落
- 9 月 30 日 ドイツ軍、モスクワ攻撃開始（一時、ソ連軍敗勢となるも、冬期に挽回し、よく 1942 年始めまでにかろうじてモスクワを防衛）

8. 終戦

8.1. ソ連軍の反攻

- 1941 年 8 月 14 日 英米首脳（チャーチルとルーズヴェルト）大西洋憲章に調印
- 12 月 英イーデン外相、モスクワ訪問
→英米は、ソ連の西方への領土拡大を非難
→ソ連は、欧州大陸における英米仏による第 2 戦線構築を主張
- 12 月 9(8)日 日本、米国太平洋艦隊基地ハワイ真珠湾を奇襲攻撃（太平洋戦争の開戦）
- 1942 年 5-6 月 モロトフ外相、英米を歴訪
- 7 月 17 日 スターリングラード（現ヴォルゴグラード）攻防戦開始（1943 年 2 月まで）
→スターリングラードにおけるソ連軍の勝利が独ソ戦のターニングポイント

8.2. 連合国の成立（ソ連軍による対独攻勢の状況で）

- 1943 年 10 月 米英ソ 3 国外相会談（モスクワ）
- 11 月 22-26 日 カイロ会談（米英中首脳会談）
- 11 月 28 日-12 月 1 日 テヘラン会談（米英ソ首脳会談）

8.3. 終戦

- 1944 年 6 月 連合軍ノルマンディー上陸作戦に成功
- 8 月 ルーマニア、フィンランド、戦線離脱
- 9 月 ソ連、ブルガリアに宣戦布告（中旬までにソフィアを占領）
- 10 月 チャーチル、モスクワ訪問（バルカンでの勢力圏について取り決め）
- 1945 年 2 月 4-11 日 ヤルタ会談（ルーズヴェルト、チャーチル、スターリン）
戦後のドイツ問題
ソ連・ポーランド国境問題
極東問題
中東欧問題はあいまいなまま
- 4 月 16 日 ソ連軍、ベルリン攻撃
- 4 月 30 日 ヒトラー自殺
- 5 月 7 日 ドイツ降伏
- 7 月 17 日 ポツダム会談（トルーマン、チャーチル、スターリン）
- 8 月 8 日 ソ連、日ソ中立条約を破って対日宣戦布告（翌日参戦）
- 8 月 15 日 日本降伏
- 9 月 5 日 北方領土での日ソ間の戦闘終了